

関係機関 普通作物担当者 様

長野県農業試験場病虫害防除部 普通作物担当

水稻の9月上中旬の巡回調査結果の概要について

このことについて、以下のとおりです。病虫害防除指導の参考にしてください。
なお、巡回調査結果は添付ファイルを参照ください。

【東北信】 調査日 9月1日、2日、3日

＜東北信地域の巡回調査ほ場：東信15ほ場、北信14ほ場、計29ほ場＞

1 穂いもち

- (1) 発生地点率は、東信地域、北信地域ともに平年と比べ高かった。
- (2) 穂いもち被害率率は、東信地域では平年並、北信地域では平年と比べ高かった（写真1）。



写真1 穂いもち（北信地域）

2 紋枯病

- (1) 発生地点率は、東信地域、北信地域ともに平年と比べ高かった。
- (2) 発病株率は、東信地域、北信地域ともに平年と比べやや高かった。

3 白葉枯病、ごま葉枯病、小粒菌核病

いずれの病害も巡回調査ほ場では、発病はみられなかった。

4 稲こうじ病

- (1) 発病地点率は、東信地域では平年と比べ低かったが、北信地域ではほぼ平年並であった。
- (2) 発病株率は、東信地域、北信地域ともに平年と比べ低かった（写真2）。



写真2 稲こうじ病（北信地域）

5 ニカメイガ（ニカメイチュウ）

- (1) 白穂の発生地点率は、東信地域では平年並、北信地域の巡回調査ほ場では、発生はみられなかった。
- (2) 白穂率は、東信地域ではほぼ平年並、北信地域の巡回調査ほ場では、発生はみられなかった。

6 ツマグロヨコバイ・ウンカ類

(1) ツマグロヨコバイ

- ア すくい取り調査（ネット 20 回振）での成虫の発生地点率は、東信地域では平年と比べ高く、北信地域ではほぼ平年並であった。
- イ 成虫の捕獲頭数は、東信地域が平年と比べやや多く、北信地域では平年と比べやや少なかった。

(2) セジロウンカ

- ア すくい取り調査（ネット 20 回振）での発生地点率は、東信地域、北信地域ともにほぼ平年並であった。
- イ 成虫の捕獲頭数は、東信地域、北信地域ともに平年と比べ少なかった。

(3) トビイロウンカ

巡回調査ほ場でのすくい取り調査（ネット 20 回振）では、発生はみられなかった。

7 イチモンジセセリ（イネツトムシ）

- (1) 発生地点率は、東信地域の巡回調査ほ場でのイチモンジセセリ（イネツトムシ）による『つと』の発生は、みられなかった。北信地域では、平年と比べ高かった。
- (2) 平均確認数は、北信地域ではほぼ平年並であった。

8 斑点米カメムシ類

- (1) すくい取り調査（ネット 20 回振）での発生地点率は、東信地域、北信地ともに平年と比べ高かった。
- (2) 捕獲頭数は、東信地域、北信地域ともに平年と比べ多かった。
- (3) 主要種は、アカスジカスミカメ、ホソハリカメムシ、アカヒゲホソミドリカスミカメの順であった。

9 その他

(1) イナゴ

- ア 発生地点率は、東信地域、北信地域ともに平年と比べ高かった。
- イ 捕獲頭数は、東信地域では平年と比べやや多く、北信地域ではほぼ平年並であった。

(2) クサキリ類

- ア すくい取り調査（ネット 20 回振）での発生地点率は、東信地域、北信地域ともに平年と比べ高かった。
- イ 捕獲頭数は、東信地域、北信地域ともにほぼ平年並であった。
- ウ 白穂被害は、東信地域、北信地域ともにほぼ平年並であった。

(3) コブノメイガ

巡回調査ほ場では、コブノメイガによる被害葉はみられなかった。

【中南信】 調査日 9月2日、3日、4日、8日、9日

＜中南信地域の巡回調査ほ場：南信 15 ほ場、中信 18 ほ場、計 33 ほ場＞

※収穫、降雨による欠調ほ場あり

1 穂いもち

- (1) 発生地点率は、南信地域では平年と比べ低く、中信地域では平年並であった。
- (2) 穂いもち被害率率は、南信地域では平年と比べ低く、中信地域では平年と比べやや低かった。

2 紋枯病

- (1) 発生地点率は、南信地域では平年と比べやや低く、中信地域では低かった。
- (2) 発病株率は、南信地域では平年と比べ低く、中信地域ではやや低かった。一方、北安曇の巡回ほ場では、発病株率及び発病度が多発年並みに高い水田がみられた。

3 白葉枯病、ごま葉枯病、小粒菌核病

- (1) 諏訪地域の巡回調査ほ場(調査か所外)に白葉枯病がみられた(写真3)。
- (2) 木曽地域の巡回調査ほ場では、ごま葉枯病の発生がみられた(写真4)。
- (3) 小粒菌核病による倒伏は、巡回調査ほ場では確認されなかった。



写真3 イネ白葉枯病(諏訪地域)



写真4 イネごま葉枯病(木曽地域)

4 稲こうじ病

巡回調査ほ場では確認されなかった。なお、諏訪地域の常習発生ほ場では、発病がみられた(微発生)。

5 ニカメイガ(ニカメイチュウ)

幼虫加害による白穂の発生は、巡回調査ほ場では確認されなかった。

6 ツマグロヨコバイ・ウンカ類

(1) ツマグロヨコバイ

ア すくい取り調査(ネット20回振)での成虫の発生地点率は、南信地域では平年並、中信地域では平年と比べ高かった。

イ 成虫の捕獲頭数は、南信地域が平年と比べ少なく、中信地域では平年と比べ多かった。

(2) セジロウンカ

ア すくい取り調査(ネット20回振)での発生地点率は、南信地域で平年並、中信地域で平年と比べ低かった。

イ 成虫の捕獲頭数は、南信地域、中信地域ともに平年と比べ少なかった。

(3) トビイロウンカ

巡回調査ほ場でのすくい取り調査(ネット20回振)では、確認されなかった。

7 イチモンジセセリ(イネツトムシ)

- (1) 下伊那地域の巡回調査ほ及び周辺一帯の晩生品種ほ場で、イチモンジセセリ(イネツトムシ)による『つと』がみられた。南信地域の発生地点率は平年と比べ高かった。中信地域の巡回調査ほ場では確認されなかった。
- (2) 南信地域の平均確認数は、平年と比べ高かった。

8 斑点米カメムシ類

- (1) すくい取り調査(ネット20回振)での発生地点率は、南信地域、中信地域ともに平年と比

べて高かった。

(2)捕獲頭数は、南信地域では平年と比べ多く、中信地域では平年並であった。

(3)主要種として、アカスジカスミカメ、ホソハリカメムシが広い地域でみられた。また、クモヘリカメムシについて、上伊那地域の巡回調査ほ場で幼虫が捕獲され、県南部地域から北へ発生地域の拡大が確認された。

9 その他

(1)イナゴ

ア 発生地点率は、南信地域で平年並、中信地域で平年と比べやや低かった。

イ 捕獲頭数は、南信地域、中信地域ともに平年より少なかった。

(2)クサキリ類

ア すくい取り調査（ネット 20 回振）での発生地点率は、南信地域では平年並、中信地域では平年と比べ高かった。

イ 捕獲頭数は、南信地域では平年と比べやや少なく、中信地域では平年と比べ多かった。

ウ 白穂被害は、南信地域、中信地域ともに平年と比べ少なかった。

(3)コブノメイガ

巡回調査ほ場では、コブノメイガによる被害葉はみられなかった。

(問合せ先)

担 当（東北信） 藤沢

電 話 026(248)6471

電子メール bojo@pref.nagano.lg.jp

担 当（中南信） 小口

電 話 0263(53)5642

電子メール bojo-y@pref.nagano.lg.jp